

# 20,040\*のチカラ

わたしたちは信じています。

酪農乳業界には、困難を乗り越えるチカラがあると。

コロナ禍や物価高騰などによる生活変化と市場の混乱が、

社会のさまざまな分野に影響を与えている中、

酪農乳業でも、生産基盤の弱体化や消費低迷の長期化が懸念されます。

だからこそ今、わたしたちには行動が必要です。

酪農乳業界が一体となって、全力で立ち向かうこと。

この先も国産の牛乳・乳製品を食卓へ届けるために。

わたしたち自身の未来を守るために。

思いをひとつに、仲間と結束して、行動で乗り越えていく。

それが20,040のチカラ。

# 20,040

## みせよう！ わたしたち酪農乳業のチカラ。



年末年始から春休み・GWにかけては、特に生乳需給が緩和するため、酪農乳業関係者が率先して、牛乳・乳製品の購入量を増やす必要があります。

\*酪農乳業の組織数／①酪農家戸数:13,300(農林水産省「畜産統計」) ②乳業メーカー工場数:559(農林水産省「牛乳乳製品統計調査(基礎調査)結果の概要」) ③牛乳販売店数:5,946(経済産業省「商業統計」) ④全国の指定生乳生産者団体の会員数:52(各団体Webサイト) ⑤乳業団体の都道府県団体会員数:70(各団体Webサイト) ⑥Jミルク会員とJミルク:113(JミルクWebサイト)

詳細はこちら



Jミルク 需給見通し

